

## 全国月間火山概況（平成 27 年 5 月）

口永良部島では 5 月 29 日 09 時 59 分に爆発的噴火が発生し、黒灰色の噴煙が火口縁上 9,000m 以上上がりました。この噴火に伴い火砕流が発生し、新岳の北西側（向江浜地区）では海岸にまで達しました。このため、同日 10 時 07 分に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 5（避難）に上げました。今後も、5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性があります。大きな噴石の飛散及び火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

御嶽山の火山活動は低下してきており、2014 年 9 月 27 日と同程度、またはそれを上回る規模の噴火が発生する可能性は低くなっています。一方、火口列からの噴煙活動や地震活動が継続していることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒してください。これに加えて南西側（地獄谷方向）では火口から概ね 2.5km まで火砕流に警戒してください。

桜島では、爆発的噴火が 169 回発生するなど、活発な噴火活動が継続しました。

桜島島内の伸縮計では、1 月 1 日頃から山体の膨張と考えられる変化が継続しています。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

西之島では、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続し、新たな陸地の拡大が続いています。今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられます。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがありますので、西之島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒してください。

蔵王山では、5 月 8 日から 11 日にかけて火山性地震が多い状態となりました。12 日以降、地震回数は増減を繰り返しながら少ない状態で経過しています。17 日に継続時間が短く、規模の小さな火山性微動が発生しました。想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね 1.2km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

吾妻山では、大穴火口付近直下を震源とする火山性地震が 5 月 3 日以降増加し、6 日には日回数が 110 回と多い状態となりました。また、6 日に火山性微動が発生しました。大穴火口からの噴気活動はやや活発な状態が継続しています。大穴火口から概ね 500m の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

草津白根山では、湯釜付近の膨張を示す地殻変動が認められています。湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側に当たる斜面で熱活動の活発な状態が継続しており、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられています。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

大涌谷周辺（箱根山）では火山活動が活発な状態で経過しています。

4 月 26 日以降増加している火山性地震は引き続き多い状態で経過しています。箱根町湯本などで震度 1 以上を観測する地震は 21 回発生しました。5 月 15 日には火山性地震の日回数が 442 回となり、2001 年以降で最多となりました。地殻変動観測によると今回の火山活動に関連するとみられる地殻変動も観測されています。また、5 月 3 日から大涌谷の温泉供給施設で蒸気が勢いよく噴出しているのが確認されています。今後、大涌谷周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるかと判断し、5 月 6 日 06 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）に引き上げました。大涌谷周辺では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

阿蘇山の中岳第一火口では、5 月 21 日まで断続的に噴火が発生しました。5 月 3 日に振幅の大きな火山性微動が発生し、南阿蘇村中松で震度 1 を観測しました。また、5 月 8 日に、中岳第一火口付近のごく浅い所を震源とする地震が発生し、南阿蘇村中松で震度 3 を観測しました。地震の前後で噴煙や地殻変動の状況に特段の変化は認められませんでした。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（新燃岳）では、新燃岳火口直下を震源とする火山性地震は減少しましたが、3 月中旬以前よりもやや多い状況が続いています。北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられていましたが、2015 年 1 月頃から停滞しています。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

諏訪之瀬島の御岳火口では、5月5日と17日にごく小規模な噴火が発生するなど、活発な火山活動が継続しました。火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

三宅島では、火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013年2月以降はやや少量となっています。また、火山性地震は少ない状態で経過しており、今後、火口周辺（雄山環状線内側）に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、6月5日14時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）の火山活動は低下しており、硫黄山周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、5月1日10時00分に噴火予報を発表し、火口周辺警報（火口周辺危険）を解除しました。

表1 6月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火警報	レベル5（避難）	口永良部島
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	御嶽山、桜島
	入山危険	西之島
	レベル2（火口周辺規制）	吾妻山、草津白根山、箱根山、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	蔵王山、硫黄山
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、浅間山、新潟焼山、焼岳、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカランダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、霧島山（新燃岳、御鉢以外）、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄山島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

### 【各火山の活動状況及び警報・予報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

#### 雌阿寒岳[噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

4月15日から18日にかけて、ポンマチネシリ火口付近の浅い所を震源とする微小な地震が増加し、その後も回数のやや多い状態が継続しています。

全磁力連続観測によると、ポンマチネシリ96-1火口南側の地下では、2015年3月中旬以降温度が上昇している可能性が考えられます。今後の火山活動の推移に注意してください。

#### 十勝岳[噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

13日朝から16日未明にかけて、62-2火口付近のごく浅い所(海拔0km以浅)を震源とする規模の小さな火山性地震が増加し、15日には振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が発生しましたが、62-2火口や大正火口の噴煙の状況に大きな変化はありませんでした。

ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生及び発光現象などが観測されており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

#### 蔵王山[火口周辺警報(火口周辺危険)]

4月7日以降、御釜付近が震源と推定される火山性地震が増加し、火山性微動が発生するなど火山活動が活発となりました。5月8日から11日にかけて火山性地震は多い状態となりました。5月12日以降、地震回数は増減を繰り返しながら少ない状態で経過しています。5月11日及び29日に実施した現地調査及び、26日に宮城県との協力により実施した上空からの観測では、御釜とその周辺に噴気及び地熱域はみられませんでした。また、丸山沢噴気地熱地帯をはじめ想定火口域(馬の背カルデラ)内に異常は認められませんでした。

想定火口域(馬の背カルデラ)から概ね1.2kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。風下側

では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

#### **吾妻山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

大穴火口付近直下を震源とする火山性地震が5月3日以降増加し、6日には日回数が110回と多い状態となり、6日03時20分頃に火山性微動が発生しました。大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いています。

7日に実施した現地調査では、2013年以降拡大がみられている地熱域を引き続き確認しました。

浄土平の傾斜計では、2014年4月以降、緩やかな西側(火口方向)上がりの変動が継続しています。

GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、2014年9月頃から一切経山南山腹観測点が関係する基線で緩やかな変化がみられており、一切経山付近の膨張を示唆すると考えられます。

大穴火口から概ね500mの範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

#### **草津白根山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

2014年3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加しています。2014年8月20日以降はやや少ない状態で経過していますが、2015年1月以降一時的な地震の増加がみられます。地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められています。

12日に実施した現地調査では、湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側に当たる斜面で熱活動の活発な状態が継続していました。東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられています。また、全磁力観測による5月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、7月以降停滞しています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。

#### **浅間山[噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]**

山頂火口直下のごく浅い所を震源とする火山性地震及び火山性微動が2014年頃から増加傾向となっています。火山性地震は4月下旬頃からさらに増加しています。その他のデータには特段の異常は認められません。

現時点では、噴気等の状況に特段の変化はみられませんが、長期的な地震増加がみられるなどの活動の高まりがみられます。山頂火口から500m以内に影響する程度の噴出現象は突発的に発生する可能性がありますので、火山灰噴出や火山ガス等に警戒してください。

浅間山は活火山であることに留意し、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

#### **御嶽山[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]**

御嶽山の火山活動は低下してきており、2014年9月27日と同程度、またはそれを上回る規模の噴火が発生する可能性は低くなっています。一方、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

火口列からの噴煙は、白色で火口縁上100~800mで経過しています。

火山性地震は少ない状態で経過していますが、2014年8月以前の状況には戻っていません。5月2日と28日には低周波地震をそれぞれ1回観測しています(4月は1回)。これらの地震の発生時及びその前後で、噴煙や地殻変動の観測データに火山活動の高まりを示す変化はみられていません。

火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒してください。これに加えて南西側(地獄谷方向)では火口から概ね2.5kmまで火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

### 箱根山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

5月6日に噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)に引き上げ

大涌谷周辺(箱根山)4月26日以降増加している火山性地震は引き続き多い状態で経過しています。箱根町湯本などで震度1以上を観測する地震は21回発生しました。5月15日には火山性地震の日回数が442回となり、2001年以降で最多となりました。地殻変動観測によると今回の火山活動に関連するとみられる地殻変動も観測されています。また、5月3日から大涌谷の温泉供給施設で蒸気が勢いよく噴出しているのが確認されています。

これらのことから、5月6日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)に引き上げました。

大涌谷周辺では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため、注意してください。

### 三宅島[火口周辺警報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

6月5日に噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から引き下げ

噴火は2013年1月22日以降発生していません。火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013年2月以降はやや少量となっています。また、火山性地震は少ない状態で経過しており、今後、火口周辺(雄山環状線内側)に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性は低くなったと考えられます。

これらのことから、6月5日14時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(活火山であることに留意)に引き下げました。

火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒が必要です。

また、火山ガスの放出は続いているので、引き続き火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるかと予想される地域では警戒してください。

### 西之島[火口周辺警報(入山危険)及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続し、新たな陸地の拡大が続いています。

5月12日、19日に第三管区海上保安本部が、20日、26日に海上保安庁が上空からの観測を実施し、第7火口での噴火活動の継続を確認しました。

第7火口の火砕丘北東斜面から溶岩が流出し、火砕丘東側を回り込んで扇型に拡がりながら南東方向へ流下していました。南東方向へ流下した溶岩流は海岸線に達し、先端部で白煙を上げていました。

新たな陸地の大きさは、東西方向に約2,000m、南北方向は約1,900m、面積は約2.57km<sup>2</sup>(前回3月27日:約2.45 km<sup>2</sup>)でした。

溶岩流が海岸線に達している付近に、薄い茶褐色の変色水が分布し、西之島周囲の海岸線には、薄い黄緑色の変色水が分布していました。20日の観測では、西之島の南西方向約10kmの海上に東西約4,000m、南北約2,000mの帯状の薄い黄緑色の変色水が分布しているのが確認されました。

西之島及び新たな陸地には、津波を発生させる恐れのある断層やクラックは認められませんでした。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられます。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね2kmの範囲に及ぶおそれがあります。

西之島の中心から概ね4km以内の範囲では噴火に警戒してください。

### 硫黄島[火口周辺警報(火口周辺危険)及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震はやや少ない状態で経過しています。GNSS<sup>1)</sup>連続観測によると、地殻変動は2014年12月上旬頃から隆起の傾向がみられ、2015年3月頃から隆起速度が上がっています。その他の観測データに特段の異常は認められません。

島北西部の井戸ヶ浜では、22日14時58分と17時33分及び24日18時25分と18時41分に最大100mの水蒸気の噴出を観測しました。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。このことから火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴

火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生している地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

#### **福徳岡ノ場[噴火警報(周辺海域)及び火山現象に関する海上警報]**

26日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、福徳岡ノ場付近の海面で火山活動によるとみられる変色水等は認められていません。

福徳岡ノ場では長期にわたり火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

#### **阿蘇山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

中岳第一火口では、5月21日まで断続的に噴火が発生しています。5月1日には、灰白色の噴煙が火口縁上1,000m以上まで上がりました。噴火に伴い、熊本県、大分県、宮崎県の一部の地域で降灰があったと推定されます。

二酸化硫黄の放出量は1日あたり900~1,700トン（4月：1,500トン）と概ね多い状態で経過しました。

火山性微動の振幅は、消長を繰り返しながら、概ね大きな状態で継続しました。

5月3日22時04分に、継続時間約5分間の振幅の大きな火山性微動が発生し、南阿蘇村中松で震度1を観測しました。3日の火山性微動発生後に実施した5日の現地調査では、中岳第一火口内の141火口の南側が陥没していることを確認しました。

5月8日12時58分に、中岳第一火口付近のごく浅い所を震源とする地震が発生し、南阿蘇村中松で震度3を観測しました。地震の前後で噴煙や地殻変動の状況に特段の変化は認められませんでした。

GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線の伸びは、2015年3月頃から停滞しています。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。火口周辺では強風時に小さな噴石が1kmを超えて降るため、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石にも注意してください。

#### **霧島山（新燃岳）[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

新燃岳火口直下を震源とする火山性地震は減少しましたが、3月中旬以前よりもやや多い状況が続いています。GNSS<sup>1)</sup>観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013年12月頃から伸びの傾向が見られていましたが、2015年1月頃から停滞しています。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。降雨時には、泥流や土石流に注意してください。

#### **霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）[噴火予報(活火山であることに留意)]**

5月1日に火口周辺警報（火口周辺危険）から引き下げ

えびの高原（硫黄山）周辺では、2013年12月頃から火山性地震の多い状態が続いていましたが、2015年4月頃から少ない状態となっています。2014年8月20日には、硫黄山付近が震源とみられる火山性微動が発生しましたが、その後は発生していません。GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、えびの高原（硫黄山）周辺の一部の基線で、2013年12月頃からみられた地盤の伸びの傾向は、2015年1月頃から停滞しています。

火山活動によると考えられる傾斜変動は認められません。また、噴気は認められず、赤外熱映像装置による観測では熱異常域は認められません。硫黄山周辺の全磁力繰り返し観測でも、地下の熱活動の高まりは認められません。

以上のことから、えびの高原（硫黄山）周辺の火山活動は低下しており、硫黄山周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、5月1日10時00分に噴火予報を発表し、火口周辺警報（火口周辺危険）を解除しました。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意して

ください。

### **桜島[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]**

昭和火口では、爆発的噴火が169回発生するなど、活発な噴火活動が継続しました。

弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で3合目(昭和火口より1,300~1,800m)まで達しました。

5月21日10時20分の爆発的噴火では、噴煙が最高で火口縁上4,300mまで上がりました。

南岳山頂火口では、5月12日に乳白色の噴煙が火口縁上200mまで上がるごく小規模な噴火が発生しました。

桜島島内の伸縮計では、2015年1月1日頃から山体の膨張を示す変化が継続しています。桜島島内の傾斜計では、2015年1月以降、山体がわずかに隆起する傾向が続いていましたが、3月から5月にかけて停滞する傾向が見られます。今後、2012年7月24日及び2013年8月18日以上の多量の火山灰を噴出する噴火が発生する可能性があります。また、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)を挟むGNSS<sup>1)</sup>連続観測の基線では、長期的に始良カルデラ深部の膨張を示す伸びの傾向がみられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石(火山れき)が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

### **口永良部島[噴火警報(噴火警戒レベル5、避難)及び火山現象に関する海上警報]**

5月29日に噴火警戒レベル3(入山規制)から引上げ、火山現象に関する海上警報を発表

口永良部島の新岳では5月29日09時59分に爆発的噴火が発生し、黒灰色の噴煙が火口縁上9,000m以上に上がりました。この噴火に伴って発生した火砕流が、新岳の南西側から北西側(向江浜地区)にかけて流下し、北西側では海岸まで達しました。

このため、同日10時07分に噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを3(入山規制)から5(避難)に上げました。また、同日10時34分に火山現象に関する海上警報を発表しました。

同日、国土交通省九州地方整備局の協力により実施した上空からの観測では、火砕流は新岳火口からほぼ全方位に流れており、新岳北西側への流下が顕著であることを確認しました。また、新岳南西側及び南東側でも中腹まで流下しているのを確認しました。

噴火発生直後には、火山性地震が増加しましたが、同日13時以降は少ない状態となっています。

今後も、5月29日と同程度の噴火が発生する可能性があります。

大きな噴石の飛散及び火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒(避難等の対応)をしてください。

屋久島町の避難等の指示に従ってください。

### **諏訪之瀬島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

御岳火口では、5月5日と17日にごく小規模な噴火が発生するなど、活発な火山活動が継続しました。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

(火山の順は活火山総覧(第4版)による)

1) GNSS(Global Navigation Satellite Systems)とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成27年6月8日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	雌阿寒岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2008年9月29日火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年10月17日噴火予報(平常) 2008年11月17日火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年12月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日噴火予報(レベル1、平常)
	大雪山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	十勝岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2008年12月16日噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年2月24日噴火予報(レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	有珠山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2008年6月9日噴火予報(レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	恵山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
東北地方	岩木山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	秋田焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2013年7月25日噴火予報(レベル1、平常)
	岩手山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年10月27日噴火予報(レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	栗駒山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	蔵王山	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2015年4月13日火口周辺警報(火口周辺危険)
	吾妻山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	安達太良山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
関東・中部地方	那須岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	草津白根山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2009年4月10日噴火予報(レベル1、平常)切替 2014年6月3日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	浅間山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月8日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月7日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日噴火予報(レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2011年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	焼岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2011年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	御嶽山	火口周辺警報(レベル3、入山規制)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2008年3月31日噴火予報(レベル1、平常) 2014年9月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年9月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年1月19日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年3月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	白山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常) 2015年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2011年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	三宅島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月5日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	八丈島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	青ヶ島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	西之島	火口周辺警報(入山危険)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2013年11月20日火口周辺警報(火口周辺危険) 2014年6月3日火口周辺警報(入山危険) 2014年6月11日火口周辺警報(入山危険)切替 2015年2月24日火口周辺警報(入山危険)切替
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日火口周辺警報(火口周辺危険)
福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日噴火警報(周辺海域警戒)	
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	九重山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日噴火予報(レベル1、平常) 2013年9月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日噴火予報(レベル1、平常) 2013年12月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2014年3月12日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	雲仙岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年6月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2013年10月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2014年10月24日火口周辺警報(火口周辺危険) 2015年5月1日噴火予報(平常)
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報(レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年7月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2010年9月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2012年3月12日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年3月21日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	薩摩硫黄島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日噴火予報(レベル1、平常) 2013年6月4日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日噴火予報(レベル1、平常)
	口永良部島	噴火警報(レベル5、避難)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報(レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報(レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報(レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年5月29日噴火警報(レベル5、避難)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

注) 警報及び予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

## (2) その他の活火山

以下の活火山（\*印を除く）では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、\*印の活火山では、活火山として選定された平成23年6月7日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカシダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注)平成27年5月18日から(平常)は(活火山であることに留意)に変更しました。